

市民委員会資料

所管事務の調査（報告）

「かわさき産業振興プラン」の策定に伴うパブリックコメント
ト手続について

- 資料1 「かわさき産業振興プラン（案）」（パワーポイント説明資料）
- 資料2 「かわさき産業振興プラン（案）」（概要版）
- 資料3 「かわさき産業振興プラン（案）」
- 資料4 「かわさき産業振興プラン（案）」に関する意見募集について

経済労働局

平成27年11月25日

「かわさき産業振興プラン」(案)

～オープンイノベーション都市かわさきをめざして～

2016(平成28)年度～2025(平成37)年度

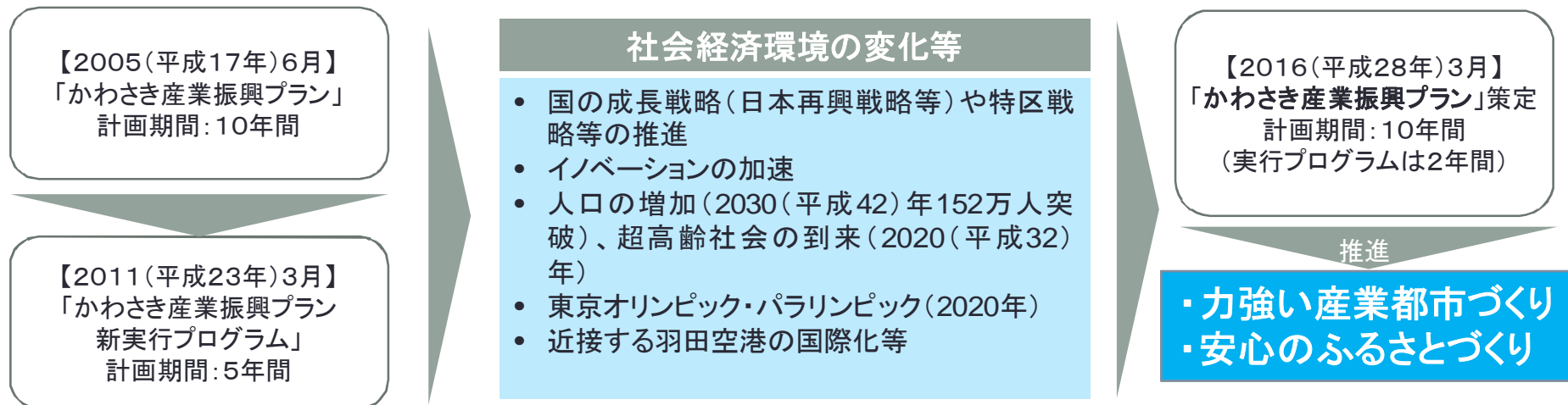
「かわさき産業振興プラン」(案)の構成

第1章	産業振興プランの策定にあたって……………	P1
	・策定の経緯・趣旨、上位計画及び分野別計画、中小企業活性化条例との関係、計画期間	
第2章	本市を取り巻く社会経済環境の変化と本市の現状……………	P4
	・我が国を取り巻く社会経済環境、経済状況の変化、本市経済の現状と産業動向	
第3章	実行プログラムに基づく主な取組の成果(平成23年度～平成26年度)……	P40
	・前期プランの戦略1～12に基づく取組の成果	
第4章	産業振興プラン策定にあたっての視点……………	P71
	・本市の地理的優位性、産業の集積、本市の産業振興の課題と対応	
第5章	産業振興の理念・方針……………	P89
	・産業振興の3つの理念と4つの方針	
第6章	実行プログラム(平成28年度～平成29年度)……………	P95
	・今後2年間に実施する7つの政策分野における現状と課題、施策の方向性、成果指標	
第7章	産業振興プランの進行管理……………	P134
	・総合計画との連動を図ったPDCAサイクルに基づく進行管理、中小企業活性化条例の実施計画としての進行管理	

第1章 産業振興プランの策定にあたって

1. 産業振興プランの策定経緯及び策定趣旨
2. 産業振興プランの位置づけ

1. 産業振興プランの策定経緯及び策定趣旨



- 本市では、2005(平成17)年に「かわさき産業振興プラン」を策定し、同プランに基づき産業振興施策を推進。
- 2011(平成23)年には、「かわさき産業振興プラン新実行プログラム」を策定し、「持続成長モデル都市・川崎」を目指し産業成長戦略に基づく産業振興施策を展開。
- 2014(平成26)年度で、前期プラン策定から10年が経過し、計画期間が終了するため、実行プログラムの見直しと併せ、プラン全体を改訂。
- また、2016(平成28)年度からスタートする「新たな総合計画」の分野別計画としての整合性を確保。

2. 産業振興プランの位置づけ

新たな総合計画(2016(平成28)年度～)

- 基本構想:概ね30年間程度を展望
- 基本計画(基本政策+政策):概ね10年間の長期計画
- 実施計画(施策+事務事業):4年間の中期計画(第1期は2年間)

かわさき産業振興プラン

〔2016(平成28)年度～2025(平成37)年度〕

実行プログラム:2016(平成28)年度～2017(平成29)年度

分野別計画

- ・「川崎市科学技術振興指針」(平成17年3月)
- ・「川崎市農業振興計画」(平成28年3月)
- ・「新・かわさき観光振興プラン」(平成28年3月)
- ・「川崎市知的財産戦略」(平成20年2月)
- ・「ウェルフェアイノベーション推進計画」(平成26年3月)
- ・「川崎市商業振興ビジョン」(平成21年3月)
- ・「川崎市卸売市場経営プラン」(平成28年3月)
- ・「川崎市コンテンツ産業振興ビジョン」(平成22年3月)
- ・「川崎市消費者行政推進計画」(平成26年3月)
- ・「川崎市グリーン・イノベーション推進方針」(平成26年5月)

川崎市中小企業活性化のための
成長戦略に関する条例
(「中小企業活性化条例」)

●分野別計画との整合を図りながら、中小企業活性化条例の実施計画として体系化し各施策を推進する。

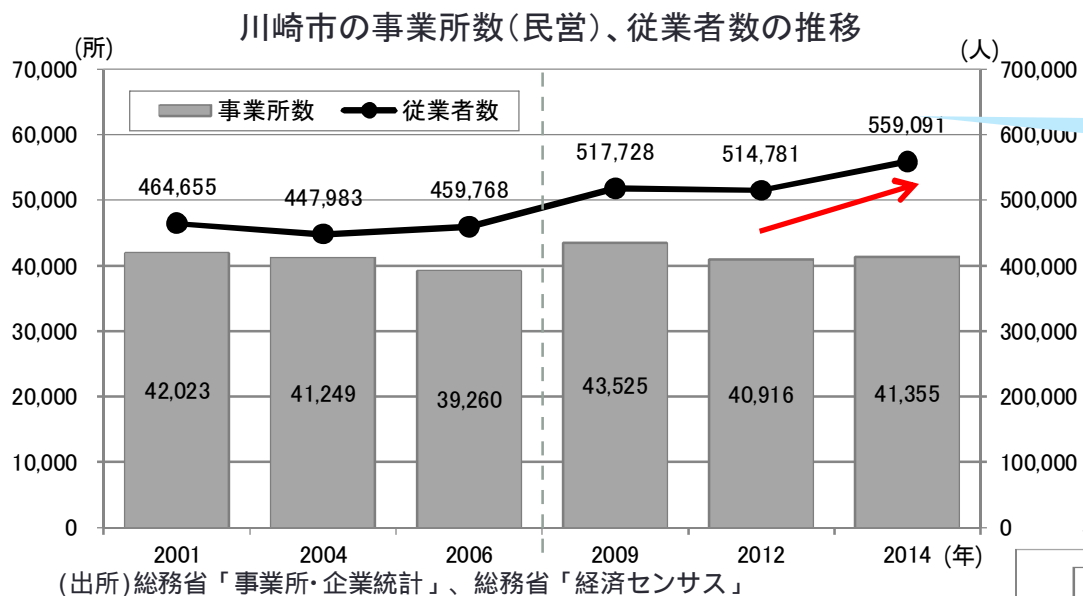
条例内容	中小企業活性化施策
創業、経営の革新等の促進	(1)ベンチャー支援・新産業支援 (2)インキュベーション機能の充実 (3)福祉産業の振興 (4)コミュニティビジネスの振興 (5)環境産業の普及・促進 (6)コンテンツ産業の振興 (7)デザインを活かした産業の振興 (8)新エネルギー分野の事業創出・育成
連携の促進	(1)オープンイノベーションの推進 (2)臨海部の国際競争力強化に向けた企業間連携の促進
研究及び開発の支援	(1)ものづくり技術の高度化 (2)先端科学技術の振興 (3)科学技術を学ぶ場づくり
経営基盤の強化及び小規模企業者の事情の考慮	(1)中小企業の育成 (2)販路拡大・開拓の支援 (3)中小企業の経営安定 (4)都市的立地を活かした健全な農業経営の推進と創造
地域の活性化の促進	(1)地域特性に応じた商業の振興 (2)活力ある商業の促進 (3)戦略的な産業立地誘導 (4)企業の立地・活動環境の向上 (5)観光・集客型産業の育成
人材の確保及び育成	(1)就業の支援 (2)産業人材の育成と活用 (3)技術・技能の振興奨励 (4)勤労者の福祉の充実
海外市場の開拓等の促進	(1)経済の国際化への対応 (2)環境産業のグローバル化の促進 (3)アジア起業家村構想の推進 (4)インバウンド型の国際化への対応
受注機会の増大等	条例の趣旨を踏まえ、工事の発注、物品及び役務の調達等についても中小企業の受注機会の確保について本市として取り組むものとします。

第2章 本市を取り巻く社会経済環境の変化と 本市の現状

1. 我が国を取り巻く社会経済環境の変化
2. 我が国の経済状況の変化
3. 本市の現状と産業動向について

3. 本市の現状と産業動向について

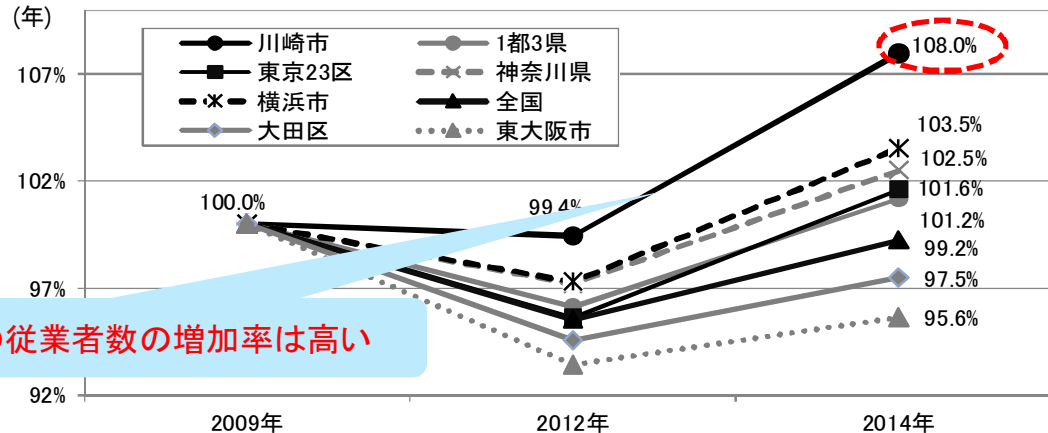
- 本市の2014年の民営事業所数は41,355事業所で2012年の40,916事業所から1.1%増加。
- 本市の2014年の従業者数は、559,091人で、2012年の514,781人から**8.6%増加**。他都市等と比較しても高い伸びを見せている。



従業者数は8.6%増加

2006年までの「事業所・企業統計」と2009年からの「経済センサス」は、調査母数が拡大したため、比較は出来ない。

本市及び他都市等の従業員数の変化(2009年=100%)



他都市等よりも本市の従業者数の増加率は高い

(出所) 総務省「経済センサス」

3. 本市の現状と産業動向について

- 情報処理・提供サービス業などの情報通信産業が集積しており、**情報サービス業の従業者割合は大都市の中で最も高い(7.3%)**。
- 生産拠点から研究開発拠点への転換により、イノベーションの創出と産業の高度化が進んでおり、**約400の研究開発機関が立地。学術・開発研究機関の従業者割合は大都市中1位**。

情報サービス業の従業者割合 学術・開発研究機関の従業者割合

情報サービス業の従業者割合(平成26年)	
川崎市	7.3%
特別区部	6.7%
大阪市	3.8%
横浜市	3.7%
福岡市	3.2%
名古屋市	2.7%
千葉市	2.4%
札幌市	2.3%
仙台市	2.1%
岡山市	1.7%
広島市	1.6%
新潟市	1.5%
静岡市	1.4%
神戸市	1.4%
さいたま市	1.2%
熊本市	1.0%
京都市	1.0%
北九州市	0.9%
浜松市	0.9%
相模原市	0.7%
堺市	0.2%
平均	2.3%

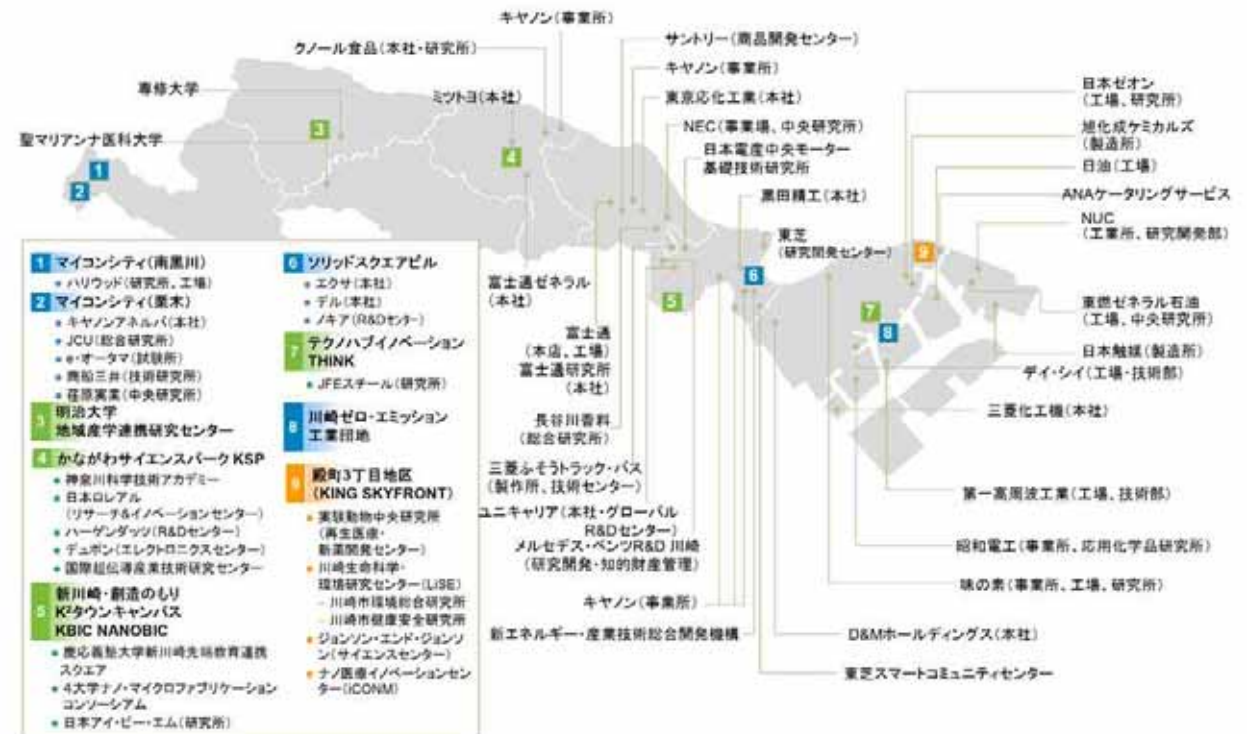
情報サービス業従業者数÷全産業従業者数(民営)×100

学術・開発研究機関の従業者割合(平成26年)	
川崎市	1.7%
横浜市	1.2%
神戸市	0.7%
千葉市	0.6%
仙台市	0.5%
相模原市	0.5%
さいたま市	0.4%
京都市	0.3%
浜松市	0.3%
特別区部	0.3%
札幌市	0.3%
新潟市	0.2%
大阪市	0.2%
名古屋市	0.2%
静岡市	0.2%
広島市	0.1%
福岡市	0.1%
北九州市	0.1%
熊本市	0.1%
堺市	0.1%
岡山市	0.1%
平均	0.4%

学術・開発研究機関従業者数÷全産業従業者数(民営)×100

(出所)総務省「経済センサス」

本市に立地する主な学術・研究開発機関等



第2章の要点(まとめ)

日本の現状等

1. 我が国を取り巻く社会経済環境の変化
 - グローバル化の進展とアジア地域の経済成長
 - ・我が国の国際競争力とアジア地域の経済成長
 - ・経済のグローバル化の進展
 - ・グローバル化を背景とした交流の増加と競争の激化
 - スマート革命による行動パターンの変化
 - ・電子商取引の拡大
 - ・ビッグデータ活用の広がり
 - 地球規模の環境問題への対応とエネルギーの安定確保
 - 世界的な高齢化の進展による医療・福祉需要の拡大
2. 我が国の経済状況の変化
 - ・我が国の経済の低成長化傾向
 - ・製造業を中心とした第2次産業の減少と第3次産業の拡大
 - ・労働力人口の減少傾向と非正規雇用の拡大
 - ・日本再興戦略等による成長実現に向けた取組

産業のグローバル化

- ◆ 市内企業の海外進出や外資系グローバル企業の集積等による産業の国際化
- ◆ 37の外資系企業の日本本社の立地、市内に本社を置く企業の47社が海外現地法人を設立、市内中小企業の約4分の1が海外取引有り

4つの産業構造の変化

- ◆ 市内の**従業者数**は平成24年から2カ年で**8.6%増加**(559,091人)
- ◆ 民営**事業所数**も減少から**増加に転換**(**1.1%増**、41,355事業所)

産業のサービス化

- ◆ サービス産業(8業種)の事業所数は、平成24年から2カ年で約4.3%増加(19,242事業所、全産業に占める割合は約46.5%)
- ◆ 人口の増加や高齢化等を背景とした市民向けサービス業の集積

産業の情報化

- ◆ 情報サービス業の従事者割合が大都市中**1位**(**7.3%**)
- ◆ 情報処理・提供サービス業を中心とした情報通信産業の集積

産業の知識化

- ◆ 約**400の研究開発機関等**の立地
- ◆ 学術・開発研究機関従事者割合が大都市中**1位**(**1.7%**)
- ◆ 生産拠点から研究開発拠点への転換によるイノベーションの創出と産業の高度化

第3章 実行プログラムに基づく主な取組の成果 (平成23年度～平成26年度)

1. 産業成長戦略1～4の主な成果
2. 産業成長戦略5～8の主な成果
3. 産業成長戦略9～12の主な成果

1. 産業成長戦略1～4の主な成果

戦略1 戦略的な産業立地政策の展開

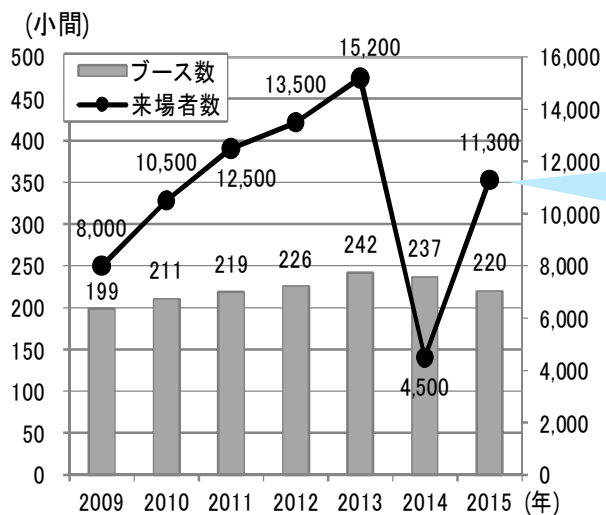
- キングスカイフロントを中心とした多くのライフサイエンス企業の集積
- 新川崎A地区の誘致完了による技術力がある企業の集積



戦略2 環境と経済の好循環の推進

- 川崎国際環境技術展による環境技術の発信力の拡大
- 「川崎市グリーン・イノベーション推進方針」の策定
- 環境産業等の振興による省エネ・創エネ産業等の集積促進

川崎国際環境技術展のブース数及び来場者数



2014年は大雪のため2日目は開催中止

2015年のブース数は
220ブース
来場者数は11,300人

川崎国際環境技術展の様子

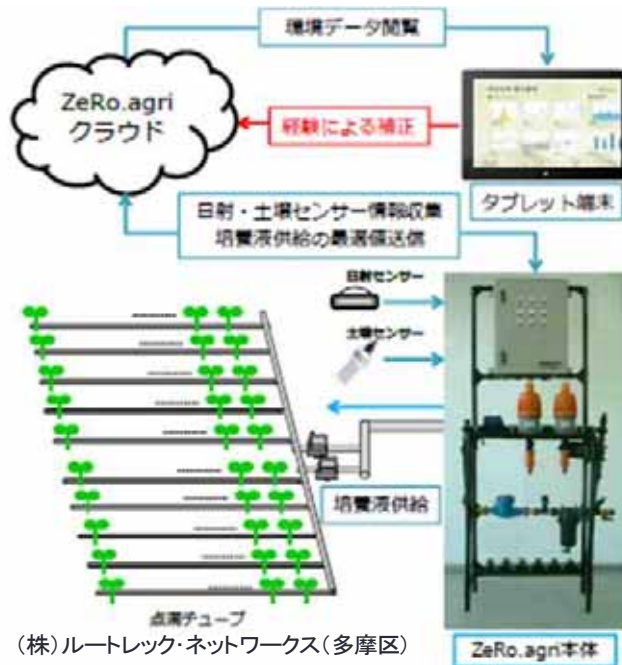


戦略3 ものづくり産業をコアとした中小企業の高付加価値化の促進

- 新技術・研究開発促進支援、マッチングなどによる市内中小企業の活性化
- 「かわさきものづくりブランド」の認定など、各種販路拡大支援による中小企業の販路の拡大
- 川崎市産業振興財団と連携した経営支援による企業の経営力向上
- 中小企業の資金繰り支援による経営の安定化

平成26年度 かわさきものづくりブランド認定製品例

ICT 養液土耕システム ZeRo.agri



デリターースクリーン



デリターー(株)(高津区)

全天候型路面標示 全天候型ミストライン



信号器材(株)(中原区)

戦略4 国際経済施策の推進

- 中国や東南アジアでの販路開拓等を目的とした市内中小企業の海外展開支援の強化による海外展開の促進
- アジア起業家村を中心としたアジアからのベンチャー企業の誘致・育成

川崎市の海外サポート拠点



現地サポート拠点を通じ、
市内企業の海外でのビジネス展開の拡大を支援

アジア起業家村
インキュベーション施設



THINK(「テクノハブイノベーション川崎」)

2. 産業成長戦略5～8の主な成果

戦略5 オープンイノベーションの推進

- 新川崎・創造のもり地区におけるオープンイノベーションの促進
- 知的財産交流会を通じたライセンス成約(21件)
- 産学公のネットワークを活かした新事業・新製品の創出

新川崎・創造のもり配置図



K2タウンキャンパス、KBIC、NANOBIICでは、最先端の研究開発が進められている。

産学官連携等による新産業の創出

川崎市知的財産交流会 成約事例

日本電気(株)
×
森田テック(株)

電子機器の電磁波ノイズの発生源を特定



富士通(株)
×
(株)松本製作所

戦略6 先端産業をはじめとする新事業・新産業の創出支援

- 創業フォーラム、起業家塾、起業家オーディション等を通じた起業家の創出・育成
- KBICを拠点としたベンチャー企業等の成長促進

かわさき起業家オーディションの様子



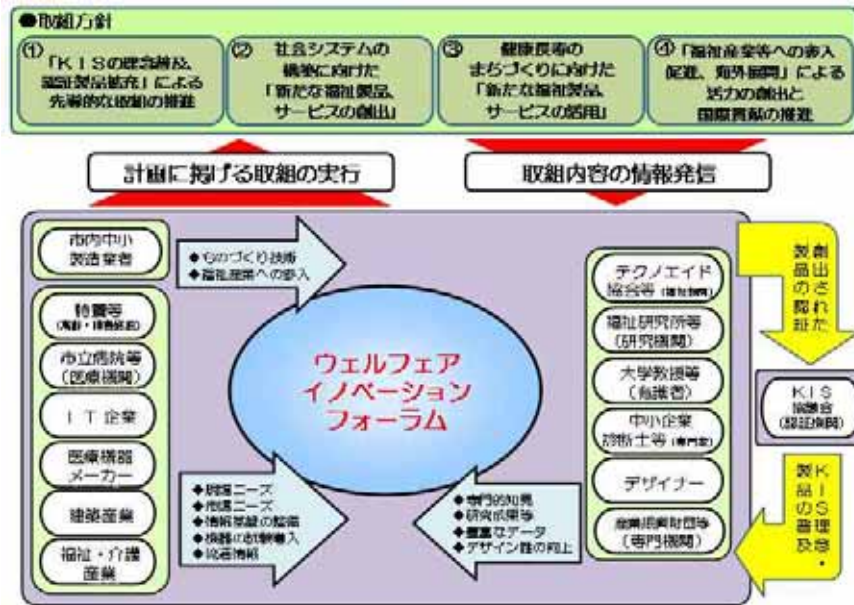
KBICの事業概要



戦略7 生活の質を高める福祉製品等の創出促進

- ウェルフェアイノベーションフォーラムによる福祉産業振興に向けたプロジェクトの創出
- 高齢化社会に貢献する「かわさき基準(KIS)」の認証による市内福祉製品の普及促進(26年度までに128製品)
- デザインを活用した市内企業製品の高付加価値化の促進

ウェルフェアイノベーションの推進



「かわさき産業デザインコンペ」作品例



ヘラ絞り技術を用いた生活用品



オフィスで使用する移動可能なパーティション

2014(平成26)年度の取組

- ◇フォーラムを活用した参加者間による福祉製品開発・活用のためのプロジェクトの創出
- ◇コーディネーター・専門家の設置による支援体制の構築
- ◇プロジェクトの進捗状況に応じた支援の実施
- ◇福祉製品開発支援補助等の各種制度の活用
- ◇フォーラムの開催やインターネットの活用による情報共有・発信

↓

KISの普及啓発、福祉製品・サービスの創出・活用促進、国際展開の推進等、プロジェクトの具現化・計画の推進

戦略8 コンテンツ・ICT産業の振興

- 市内企業製品の高付加価値化、販売促進ツールとしてのコンテンツの活用促進

「コンテンツ」の活用例
(アニメーションによる抗菌無色塗料のPR)



コンテンツを活用した市内
産業の活性化を推進

コンテンツ活用ガイドブックの作成

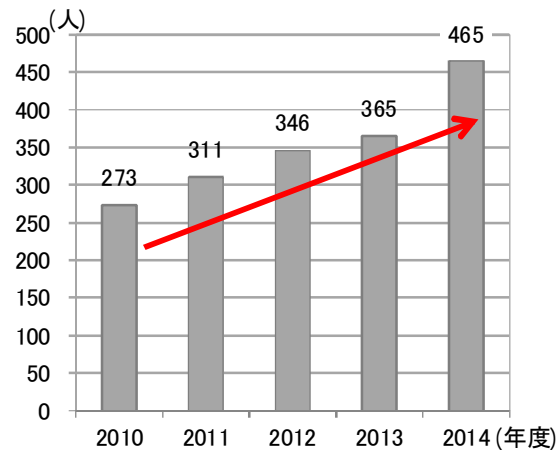


3. 産業成長戦略9～12の主な成果

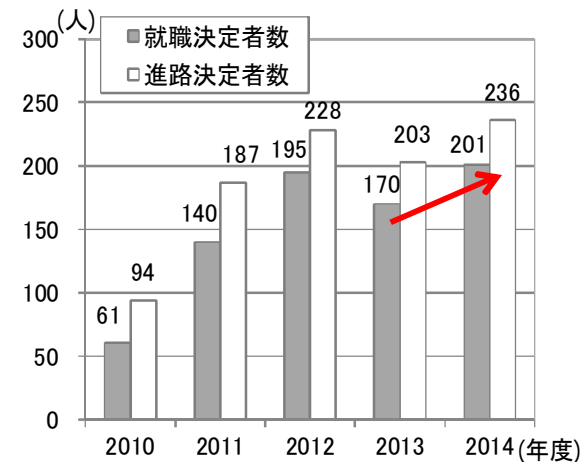
戦略9 産業振興と連動した人材育成と就業マッチングの促進

- 就業マッチングによる就業の促進
- 若年者の職業的自立支援による就業等の促進
- 「かわさきマイスター」制度による技術・技能の活性化

キャリアサポートかわさきの就職決定者数



かわさき若者サポートステーションの実績



市内最高峰の匠「かわさきマイスター」認定者



伊原氏 内装仕上技能士



吉田氏 和服仕立業



比屋根氏 板金工

戦略10 地域特性に応じた安全・安心な商業流通・ サービス機能の形成

- エリアプロデュース事業や市内産品の消費拡大等による活力ある商業の促進
- 商店街エコ化プロジェクト等による商店街の環境整備や川崎駅周辺の中心市街地の活性化
- 南北2市場体制による生鮮食料品の安定供給と市場機能の強化

B u yかわさきフェスティバルの様子



カワサキハロウィン2014ハロウィン・パレード



民間活力により新たに整備した配送棟
(北部市場青果部)



2014(平成26)年度に、定期借地権方式を活用し青果卸売業者を事業主体として、新たに荷捌きや加工機能等を有する配送棟及びパッケージ棟が完成

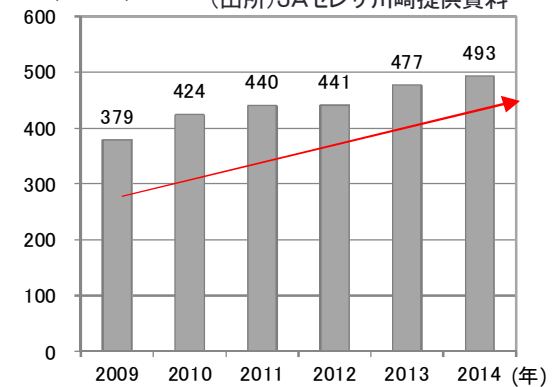
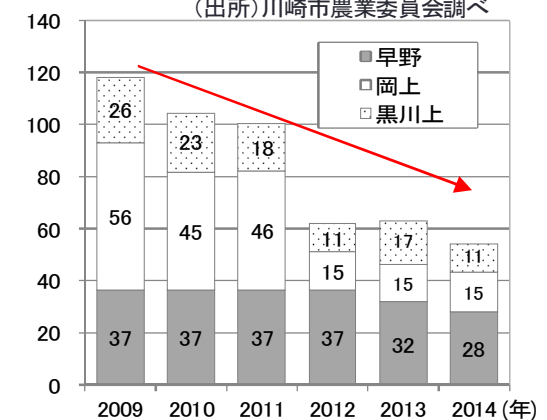
戦略11 食と緑を豊かにする都市農業の振興と都市緑地の保全と活用促進

- 農地を活かした地域活性化と市民の農に触れる機会の増加
- 市内農産品の地産地消の拡大、耕作放棄地面積の減少

早野ウォーキング



市開設型市民農園

セレスアモスでの地場産販売額の推移
(百万円) (出所)JAセレスアモス提供資料農業振興地域の耕作放棄地面積の推移
(a) (出所)川崎市農業委員会調べ

戦略12 地域資源の活用による魅力の発信

- 市内観光資源のPR促進と外国人観光客の受入体制の強化
- 産業観光の定着による集客の増加

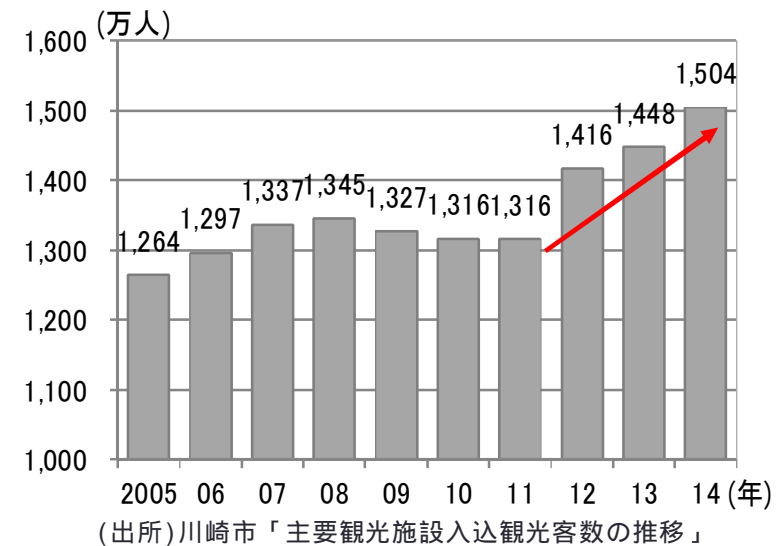
工場夜景



産業観光ツアー



川崎市の主要観光施設入込客数の推移



第4章 産業振興プラン策定にあたっての視点

1. 本市の地理的優位性
2. 産業の集積
3. 本市の産業振興の課題と対応

1. 本市の地理的優位性

- **首都圏の中心部にある立地優位性** (陸海空のアクセスに恵まれた交通ハブ、首都圏の中心に立地)
- **鉄道・鉄道の利便性の向上** (都心との直通鉄道の増加や臨海部のアクセス向上)
- **羽田空港への近接性** (羽田連絡道路や国道357号線の整備に向けた取組の推進)
- **国際貿易港としての川崎港** (国際戦略港湾としての発展と新航路の開設)
- **首都圏のエネルギー供給拠点としての臨海部** (多様な発電施設の立地によるエネルギー供給拠点)
- **都市拠点の形成** (川崎、武蔵小杉を中心とする駅前再開発による商業集積)

川崎市内の道路・鉄道のネットワーク



2. 産業の集積

- **ものづくり産業や研究開発機関の高度な集積** (全国1位の製造品出荷額等・学術研究機関従業者率)
- **高付加価値製品を生み出す素材系産業の集積** (付加価値の高い石油・化学産業の集積)
- **新たな産業集積の形成**
 - ・ **3つのイノベーションを促進する先端産業の集積(ライフ、グリーン、ウェルフェアの3イノベーションに関する産業の集積)**
 - ・ 国際競争力のある産業創出をめざす特区の指定 (国際戦略総合特区、国家戦略特別区域の取組の推進)
 - ・ 人口集積を活かしたサービス業の集積
 - ・ 魅力ある都市拠点や観光資源による観光産業の発展 (ものづくり都市としての産業観光や新規集客施設の立地)

超高齢社会への対応

- ・ 高度な医療ニーズに対応し、国際的な課題に寄与
- ・ 日本経済の持続的な発展を牽引



ライフイノベーション (医療・バイオ等)

市内中小企業の優れた技術力を応用した取組への対応

- ・ 利用者ニーズに応えた福祉製品を創出し、国内のみならずアジア諸国の高齢化の課題解決に寄与
- ・ 福祉産業の拡大と活性化



ロボットスーツHAL®シリーズ
(CYBERDYNE(サイバーダイン)株)

環境先進都市の特徴・強みを活かした対応

- ・ 公害を克服する過程で培った川崎の強みを活かし地球環境問題解決に寄与
- ・ 活力ある本市の産業活動をサポート

グリーンイノベーション (環境・エネルギー等)

ウェルフェアイノベーション (健康・福祉等)

グリーンイノベーションクラスタープロジェクト事例

- ・ バイオマス発電によるJCM実現可能性調査
- ・ 廃プラを利用した油化事業
- ・ 廃棄物発電を利用したエネルギー循環型ごみ収集システム実証試験

3. 本市の産業振興の課題と対応

- 本市の地理的優位性や様々な産業の集積を踏まえ、今後10年間を見据えた今後取り組むべき産業振興の主要課題を7つに整理 ※4は①、②の2つに整理

1. 成長産業の育成振興

- ・ライフイノベーション
- ・グリーンイノベーション
- ・ウェルフェアイノベーション
- ・知的財産戦略(特許流通支援)の推進

2. グローバル化対応

- ・海外展開支援
- ・インバウンド型のグローバル化の促進

3. 市民生活を支える産業の振興

- ・商店街の活性化
- ・サービス産業の支援
- ・コミュニティビジネス・ソーシャルビジネスの支援・振興

4-①. 中小企業の活性化 (中小企業の成長促進)

- ・企業間のマッチング、産学連携
- ・新事業・新製品開発支援
- ・販路開拓支援
- ・人材育成等

4-②. 中小企業の活性化 (中小企業支援)

- ・小規模事業者を含めた中小企業支援施策の充実

5. 起業・創業の支援

- ・創業支援体制を活用した起業・創業支援
- ・インキュベーション施設や支援機関によるベンチャー企業等の育成

6. 産業人材の確保と雇用への対応

- ・就業支援による雇用のミスマッチの解消
- ・産業人材の育成等

7. 都市拠点・観光資源を活かした交流人口の拡大

- ・魅力ある都市拠点や観光スポット等の観光資源を活かした観光振興
- ・エリアごとの観光促進と連携の推進

第5章 産業振興の理念・方針

1. 産業振興の理念
2. 産業振興の方針

1. 産業振興の理念

今後10年間の産業振興の理念

1. 「産業都市かわさき」としてのブランド力・都市の品格を高めることにより、多様な産業・人材を引き付け、経済の活性化に繋げるとともに、社会課題の解決に貢献する。
2. 企業や市民との連携・協働などや地域資源の活用により、市民生活の豊かさや安全・安心の向上を図る。
3. 先端技術や産業集積を活かし、首都圏やアジア各国との重層的な経済循環を生み出し、持続可能な成長都市を目指す。

『多様な人材と産業が創り出す、活力と魅力にあふれる オープンイノベーション都市かわさき』

- オープンイノベーション都市の実現に向けて、「かわさき」というポテンシャルのある場を多様な主体に提供することで、新産業や新事業等の創出につなげる。
- 「対話」と「現場主義」を基本姿勢として、産業界との「顔の見える関係」を構築しながら、持続可能な成長モデルを確立し「川崎モデル」として世界に発信する。

2. 産業振興の方針

今後10年間の産業振興の4つの方針

産業振興政策の基本的方向性

1. 市内立地企業の国際競争力の強化

2. イノベーションの促進

3. 市民生活や雇用を支える産業の振興

4. 多様な人材が活躍できる人材交流都市の構築

市産業の活性化と持続的成長・発展

市内立地企業の国際競争力の強化
 高度な産業集積と都市のポテンシャルを活かして、10年後の本市経済を牽引する成長産業の振興や中小企業の活性化などにより、市内産業の国際的な競争力を高め、世界に誇れる先進都市としての国際的なプレゼンスを確立する。

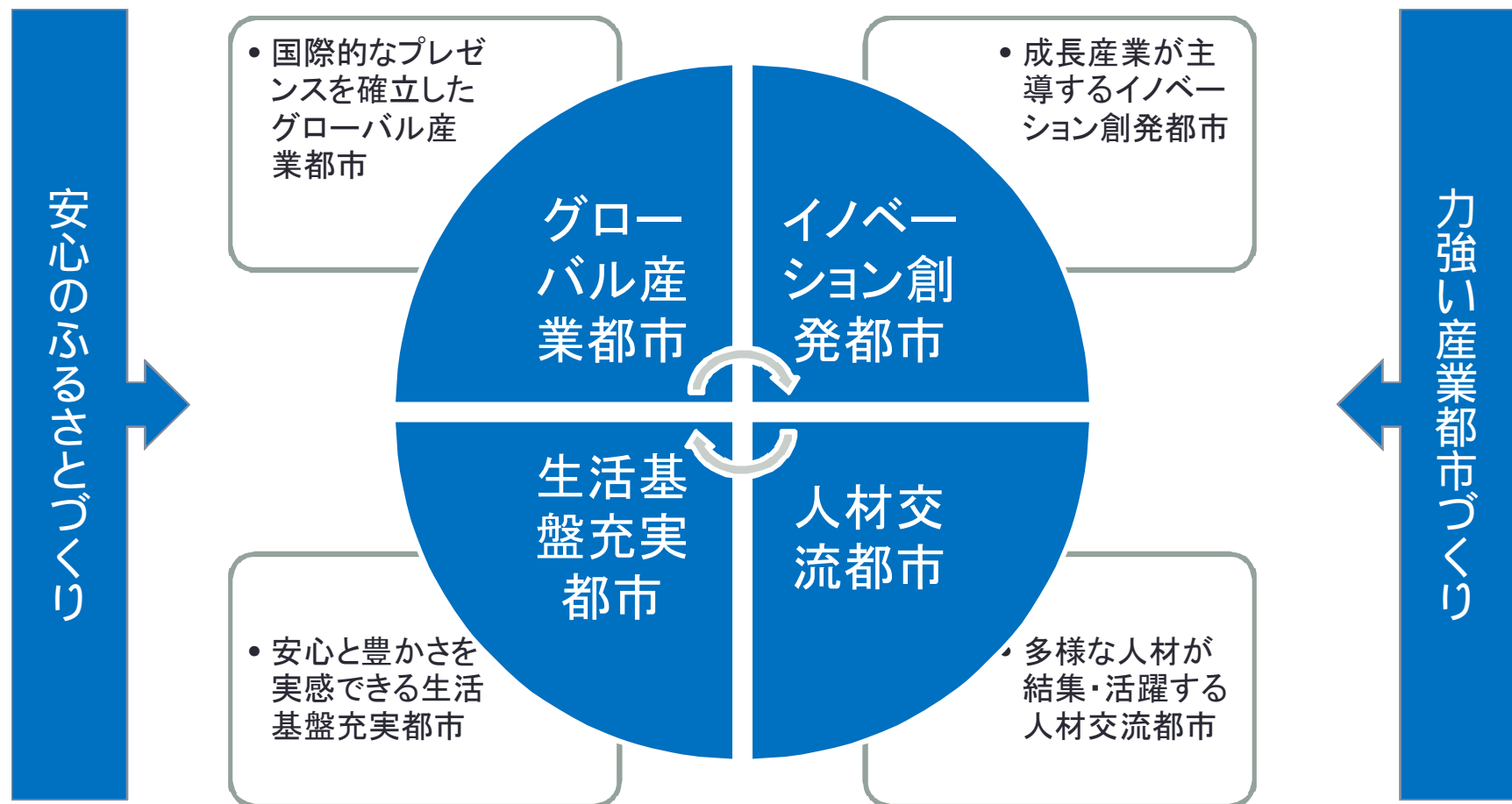
イノベーションの促進
 高度な知的人材の結集とグローバルな連携等により、3つのイノベーション(ライフイノベーション・グリーンイノベーション・ウェルフェアイノベーション)を中心とした継続的な知識創造を誘発し、本市経済の持続性と成長性を高める。

市民生活や雇用を支える産業の振興
 持続可能な地域産業基盤の確立と、地域雇用の創出を両立させ、市民生活の豊かさを高める。

多様な人材が活躍できる人材交流都市の構築
 年齢、性別、国籍、障がい有無、思想、言語などを問わず、多様な人材が活躍できる場の確保や創出を図るとともに、さまざまな連携を可能とする人材交流都市としての魅力を高める。

■ 目指すべき産業都市像（総合的かつ長期的目標）

- 今後10年間を見据えた産業振興の理念や方針を踏まえ、4つの産業都市像（イノベーション創発都市・人材交流都市・グローバル産業都市・生活基盤充実都市）の実現に向けて産業振興を推進する。



第6章 実行プログラム(2016(平成28)年度 ～2017(平成29)年度)

■ 実行プログラムの主な施策

- 3 - 1 アジアを中心とした海外での事業展開支援の強化(資料3プラン本編P.101)
- 3 - 2 魅力と活力ある商業地域の形成(P.103)
- 3 - 3 中小企業の競争力強化と活力ある産業集積の形成(P.107)
- 3 - 4 都市農業の強みを活かした農業経営の強化(P.114)
- 4 - 1 ベンチャー支援、起業・創業の促進(P.117)
- 4 - 2 地域を支える産業の育成・市内事業者の新分野への進出支援(P.118)
- 4 - 3 科学技術を活かした研究開発基盤の強化(P.123)
- 5 - 1 人材を活かすしくみづくり(P.126)
- 7 - 1 川崎の特性を活かした観光の振興(P.131)

政策体系の番号(資料3プラン本編P.95)

①政策体系3-1:アジアを中心とした海外での事業展開支援の強化

- 拡大するアジア市場などをターゲットとした積極的な海外展開による販路拡大を支援
- 環境技術の海外移転により、国際貢献と市内産業の活性化を実現

現状と課題

- 国際競争の激化や少子高齢化・人口減少に伴う国内市場の縮小
- 海外展開ニーズを有する市内企業をサポートするための積極的な海外展開支援の必要性
- 海外生産拠点の設立を検討している企業や海外展開の拡大を志向する企業に対する支援
- 本市に蓄積する優れた環境製品・技術等による、中国やアジア諸国の環境問題の解決等の国際貢献と、国内外への情報発信による環境産業の成長促進

川崎市グリーンイノベーション推進方針(2014.5)

〔基本的な考え方〕
「環境技術・産業を活かした
サステナブル・シティの創造」

- ① 環境技術・環境産業の振興
- ② 優れた技術を活かす環境配慮の仕組みづくり
- ③ 多様な主体の協働による環境技術を活かしたまちづくり
- ④ 環境技術を活かした国際貢献の推進

施策の方向性

経済の国際化への対応

- 海外ビジネス支援センター(KOBS)によるワンストップサービスの提供
・企業を直接訪問し、海外進出ニーズの把握と個別支援を実施



- 海外での展示会・商談会への出展・参加等
・中国、タイ等で開催される展示会等への出展サポートを実施
- 現地サポート拠点による支援
・市内企業の上海、バンコク、瀋陽でのビジネス活動をサポート

環境産業のグローバル化の促進

- 「川崎国際環境技術展」の開催
・環境に配慮した技術やノウハウを幅広く集め、ビジネスマッチングを実施
(過去7年間の商談件数は累計約4,000件
内海外件数は625件)



- 「かわさきグリーンイノベーションクラスター」によるプロジェクト創出
・市内に集積している環境技術・製品・サービスと行政知見・ノウハウのパッケージ化による国内外への展開支援

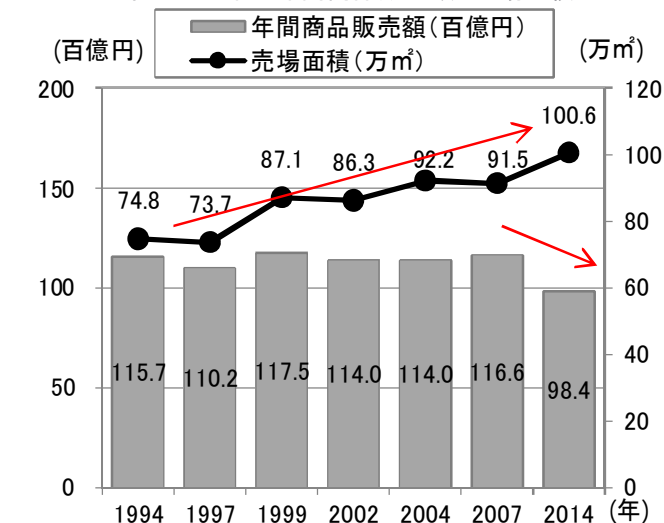
②政策体系3-2: 魅力と活力ある商業地域の形成

- ブランド力ある商業集積地を形成し、その魅力を市内外に広くPRすることで、さらなる集客と賑わいを創出
- 大型商業施設や地域との連携を促進し、地域課題を解決することで、地域コミュニティの担い手としての商店街を形成

現状と課題

- 商店街数・店舗数・従業員数の減少傾向
- アゼリアのリニューアルやさいか屋川崎店の閉店など、川崎駅周辺の商業環境の変化を踏まえた中心市街地の持続的な活性化
- 市内小売業の売場面積が増加傾向にある一方で、年間商品販売額は横ばいから減少へ

市内小売業の年間商品販売額と売場面積



(出所) 経済産業省「商業統計」

施策の方向性

地域特性に応じた商業の振興

- **商店街の賑わいと交流機会の創出**
 - ・街路灯LED化等の商店街の魅力向上につながる**施設整備**を支援
 - ・商店街の**イベント**をはじめとしたソフト事業を支援
- **川崎駅周辺市街地の魅力の向上に向けた取組の推進**
 - ・**大型商業施設と商店街との連携**によるインパクトのあるイベントの実施
- 個店の創業支援
 - ・空き店舗を活用した事業への支援や創業予定者向けセミナーの開催等

活力ある商業の促進

- **商業集積エリアの活性化**
 - ・**エリアプロデューサー**(専門家等)を継続して派遣し、商業集積エリアの活性化や商店街の組織力を強化
- **魅力ある個店・商品の創出**
 - ・意欲とアイデアのある事業者グループや商店街が実施する新たな連携・協働による先進的かつ意欲的な事業を支援
 - ・市内の優れた名産品を広く市内外に紹介・PRするため、「Buyかわさき出品者協議会」の活動を支援

Buyかわさきフェスティバルの様子



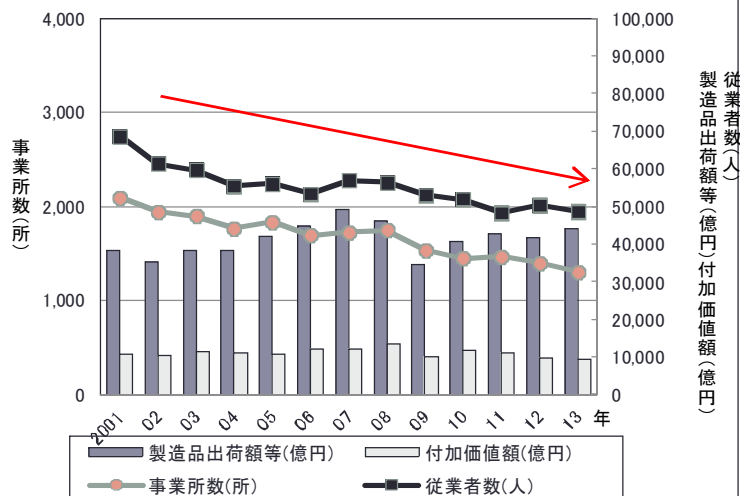
③政策体系3-3: 中小企業の競争力強化と活力ある産業集積の形成

- 製品・技術の高付加価値化や競争力強化などの経営革新を支援し、成長分野への参入を促進
- 優れた技術力や製品開発力を持つ中小企業の発信力を強化し、新規取引先の開拓や販路拡大の機会を創出

現状と課題

- 既存産業の活性化や新産業・ベンチャー企業の創出等に向けた、オープンイノベーションの更なる推進の必要性
- 市内の産業集積の維持・強化に向けた中小企業の経営改善や基盤強化の必要性
- 市内事業所数(製造業)は減少傾向

市内製造業の推移

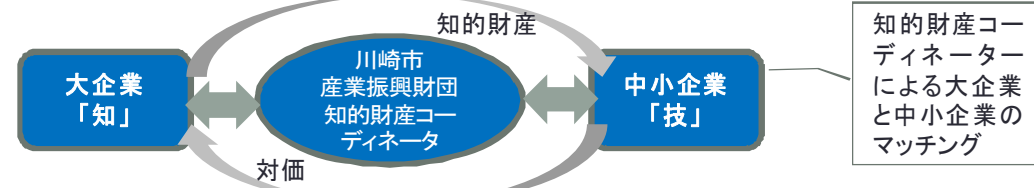


(出所)経済産業省「工業統計」

施策の方向性

オープンイノベーションの推進

- 知的財産戦略の推進
 - ・ 大企業の知的財産を活用した中小企業の新事業創出支援



ものづくり技術の高度化

- ものづくり中小企業経営革新支援
 - ・ 経営革新の取組への支援を充実し、研究開発型企業を創出・育成 (新製品・新技術開発や産学連携による共同開発等の促進)

販路拡大・開拓支援

- 「川崎ものづくりブランド」の認定による発信力の強化や先端技術見本市「テクトランスファー」等を通じた新技術・新製品の販路拡大等
- 全国の展示会への出展支援による販路開拓支援
 - ・ 展示会への個別又は共同出展による技術・製品のPR支援等

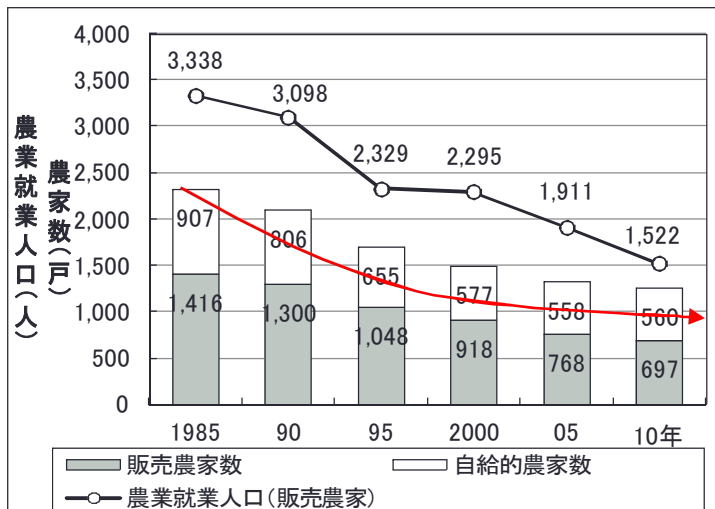
④政策体系3-4：都市農業の強みを活かした農業経営の強化

- 認定農業者の確保・育成や新規就農者等への技術支援等、持続的・自立的な農業経営に向けた支援を充実
- 農産物の付加価値化や農作業の省力化、地域の活性化等を図るため、多様な主体との連携を推進

現状と課題

- 農家数の減少や農業従事者の高齢化、担い手・後継者の不足、遊休農地等
- 認定農業者数の伸び悩み
- 市内農業を活性化に向けた、地産地消の推進や農業経営の効率化・高度化の必要性
- 農産物の高付加価値化

川崎市の農家数・農業就業人口の推移



(出所)農林水産省「農林業センサス」

施策の方向性

持続的・自立的な農業経営に向けた支援

- **農業力向上に向けた重点的な支援**
 - ・認定農業者等に向けた経営支援の充実
- **持続的な農業経営に向けた担い手の育成・確保**
 - ・経験の浅い農業者等への技術指導の充実
- 農業技術支援センターの見直しによる技術支援機能の充実
- 農業振興地域等の活性化
 - ・早野地域では遊休農地等を利用し地域等の多様な主体と連携した振興施策を図るなど、地域毎に適した取組を推進

多様な主体との「共創」による「新たな農業価値」の創造

- **企業・大学・地域等の多様な主体との連携**
 - ・農産物の付加価値向上や農作業の省力化、地域の活性化等を図るため、多様な主体との連携を推進

多面的機能を有する都市農地の維持・保全と活用

- 利用者や農業者、事業者等との連携を図った**農業体験機会の提供**
- 庁内や民間事業者等との連携・情報共有による「農」に関するイベント等の効果的な展開

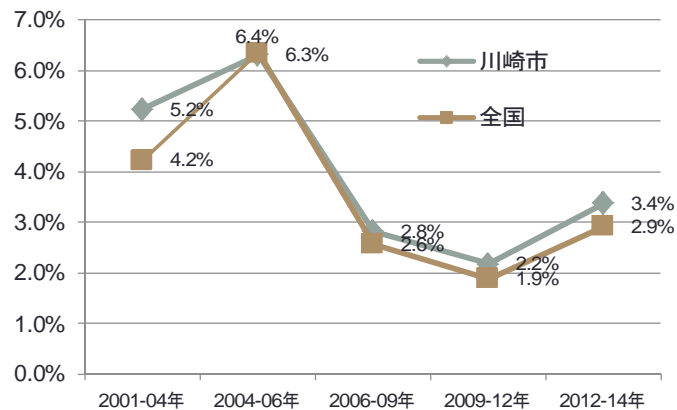
⑤政策体系4-1:ベンチャー支援、起業・創業の促進

- 市内の各機関と連携し、起業啓発、起業準備、事業化、発展の各成長段階に応じた効果的な支援を実施
- 市内のインキュベーション施設で事業スペースや専門家のアドバイスを提供し、資金調達・販路拡大を支援

現状と課題

- 独自の技術やサービスを活かして起業・創業しようとする個人に向けた成長段階に応じた支援の必要性
- ビジネスプランや新技術を事業に結びつけるための、インキュベーション施設の機能の充実

川崎市及び全国(平均)の開業率の推移



(出所)総務省「事業所・企業統計調査」、「経済センサス」

施策の方向性

ベンチャー支援・新産業支援

- 本市におけるイノベーションの創出等を促進するため、ベンチャー企業の支援や起業・創業支援の充実を図る。
- かわさき起業家オーディションの開催
 - ・資金調達やビジネスパートナーとの出会い、市民への製品発表を行う場の提供
- 「川崎市創業支援事業計画」に基づく体系的・総合的な支援
 - ・経営支援機関、NPO法人、インキュベーション施設、金融機関などと連携し、体系的・総合的な支援を実施

経営支援機関	川崎市産業振興財団、川崎商工会議所、(株)ケーエスピー	NPO法人	NPO法人ぐらす・かわさき
インキュベーション施設	KBIC、KSP、KCCIインキュベータ、THINK、明治大学地域産学連携研究センター	金融機関	横浜銀行グループ、神奈川銀行、八千代銀行、川崎信用金庫、日本政策金融公庫川崎支店

インキュベーション機能の充実

- かわさき新産業創造センター(KBIC)の機能の充実
 - ・事業スペースの提供
 - ・常駐するインキュベーションマネージャーによる販路開拓・資金調達等の支援

かわさき新産業創造センター(KBIC)



⑥政策体系4-2：地域を支える産業の育成・市内事業者の新分野への進出支援

- 高齢者や障がい者等への多様なサービス・製品を創出し、活用を促進することにより、新たな川崎の活力を生み出すとともに、社会システムを構築する。

現状と課題

- 超高齢社会の到来に伴う課題を産業の力を活用して解決する「ウェルフェアイノベーション」推進の必要性
- 「かわさき基準(KIS)」の理念の普及とKISのブランド化等による、利用者にとっての最適な福祉製品の提供
- ウェルフェアイノベーションによるプロジェクトの事業化の推進と導入推進・普及拡大

平成26年度認証製品



ロボットスーツHAL®シリーズ

施策の方向性

福祉産業の振興

- ウェルフェアイノベーションフォーラムによるプロジェクト創出
 - ・福祉と産業の関係者間のネットワーク基盤である「ウェルフェアイノベーションフォーラム」の活用や専門コーディネーターの支援体制により、福祉製品やサービスの創出・活用など、具体的なプロジェクトの創出を促進する。

ウェルフェアイノベーションフォーラムの稼働プロジェクト

- 見守りシステムの構築
- 自動排泄処理装置の改良
- UDタクシーを活用した工場夜景ツアーのモデル検証
- 腰痛軽減用具の開発
- 高齢者福祉のためのコミュニケーションペットの開発



自動排泄処理装置

- 福祉製品・サービスの創出・活用促進
 - ・製品開発や展示会への出展、施設等への製品導入を促進し、福祉製品の研究開発から普及促進まで一体した支援を実施
- かわさき基準(KIS)認証福祉製品の認証・普及
 - ・KISに基づく福祉製品の認証を行い、認証福祉製品の普及を図る。また、大規模商業施設等との連携により販路拡大を図るとともに、バリアフリーなまちづくりに貢献する。

⑦政策体系4-3: 科学技術を活かした研究開発基盤の強化

- 「科学技術指針」に基づく、先端科学技術分野の研究開発の促進や産学連携基盤の強化
- 新川崎・創造のもり地区を拠点としたオープンイノベーションの実現

現状と課題

- 科学技術を通じた地域の産業競争力の強化やオープンイノベーションの更なる推進
- K²タウンキャンパスにおける大学の研究成果を活用することによる市内企業の技術力向上や、産学連携による新技術開発、ナノ・マイクロ技術を活用した市内企業の基盤技術の高度化
- 創造のもりを拠点としたオープンイノベーションの推進による新技術・新産業の創出

平成12年【第1期事業】K²タウンキャンパスを開設
 平成15年【第2期事業】かわさき新産業創造センター（KBIC）を開設
 平成24年【第3期第1段階事業】ナノ・マイクロ産学官共同研究施設（NANOBIIC）を開設
 平成25年京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区に追加指定

施策の方向性

先端科学技術の振興

- 「かわさき科学技術サロン」の開催
 - ・研究者や技術者が組織・分野を越えて活発に交流できる場の提供
- 新川崎地区における産学連携・産産連携の促進
 - ・新川崎地区ネットワーク協議会での活動を通じ、新川崎地区を拠点とした産学連携・産産連携を進め、新たな技術開発を促進
- 新川崎・創造のもり第3期第2段階「産学交流・研究開発施設」の整備
 - ・新たな施設の整備により、新川崎・創造のもり地区へのさらなる先端産業の集積促進と地区内の企業・大学等の交流や連携を強化

創造のもり配置図

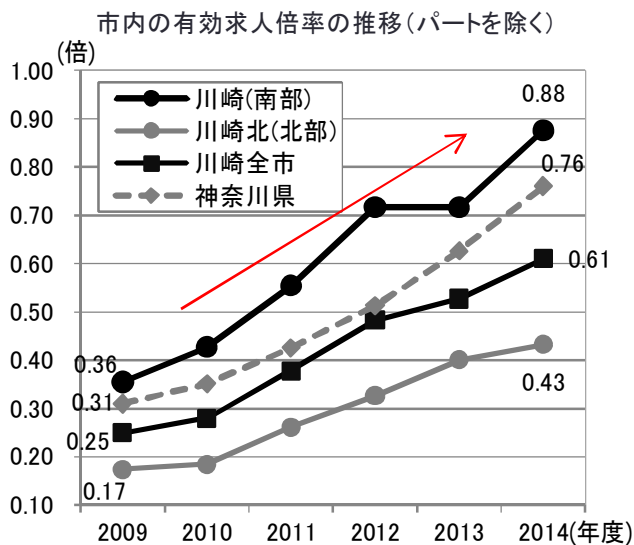


⑧政策体系5-1:人材を活かすしくみづくり

- 意欲ある人が自らの能力や個性を活かして働くことができる社会を実現し、活力ある地域経済を維持するために、市内雇用の維持・拡大と多様な人材の活用・育成に向けた取組を推進

現状と課題

- 全国的に有効求人倍率は回復傾向にあるが、雇用のミスマッチや離職者・求職者に対する就業支援が必要。
- 多様な人材活用の充実に向けて、若年者や女性などの就業支援の強化が必要。
- 市内中小企業の労働力不足に対応した、人材確保の支援が必要。



(出所) 総務省神奈川労働局職業安定課「神奈川労働市場月報」

施策の方向性

就業の支援

- **「キャリアサポートかわさき」の運営**
 - ・本人の特性に合わせた個別カウンセリングや求人開拓による職業紹介を行うなど効果的な就業マッチングを実施
- **「コネクションズかわさき(かわさき若者サポートステーション)」の運営**
 - ・運営事業者との協働や学校との連携により、若者無業者等の就職を支援
- **女性の再就職支援**
 - ・託児付き就職相談や多様な働き方の紹介など、女性の再就職を支援
- **人材確保の支援**
 - ・人材不足が懸念される業界の合同企業就職説明会等の実施

産業人材の育成と活用

- **産業人材の育成**
 - ・行政と産業界が一体となり、市内関係団体や企業等と連携した産業人材の育成を推進
- **ものづくりの魅力の継承**
 - ・市内企業へのインターンシップや親子ものづくり体験教室、学校等での職業紹介や体験講座等による、ものづくり産業の魅力の若年者への継承等

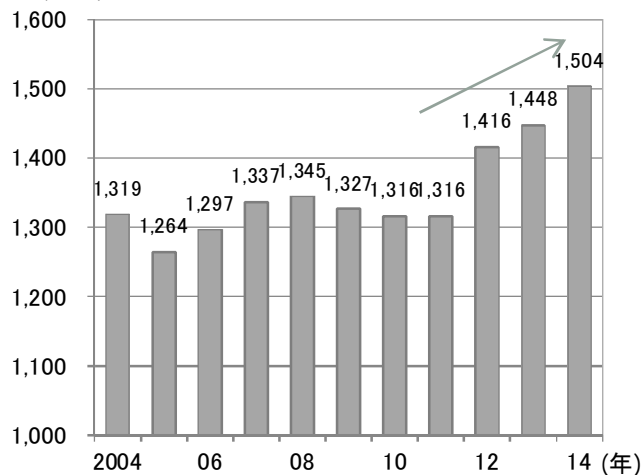
⑨政策体系7-1:川崎の特性を活かした観光の振興

- 工場夜景をはじめとした川崎の多様な観光資源を活用して集客を図り、川崎の魅力を市内外に発信
- 東京オリンピック・パラリンピックを契機とした、一過性ではない戦略的な観光振興を展開

現状と課題

- 市内主要観光客施設の観光客数は、増加傾向
- 市、観光協会、民間事業者、市民等の連携によるオール川崎での取組強化の必要性
- 東京オリンピック開催を好機として捉え、多くの外国人を魅了することができるような観光資源の活用とインバウンド観光の取組強化の必要性

(万人) 市内主要観光施設入込観光客数の推移



(出所) (出所)川崎市「主要観光施設入込観光客数の推移」

施策の方向性

観光・集客型産業の育成

- 東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組
 - ・市内の観光資源の活用やおもてなしの拡充等を図るとともに、海外の観光客動向等を踏まえ、広域的な連携を生かし、インバウンド観光を推進
- 観光受入体制の構築
 - ・川崎市観光協会を中心とした情報発信、商品造成・販売促進などを総合的にマネジメントする仕組みの構築と産官学民が一体となった「かわさき観光の推進体制」の整備

観光資源の創出・育成

- 観光都市ブランドの形成
 - ・産業観光や生田緑地をはじめ、川崎駅周辺、食の魅力など、本市の多様な資源を活かして、観光客の市内回遊を促し、滞在時間を延長させ、商品・サービスの購買につながるような都市の観光魅力を創出



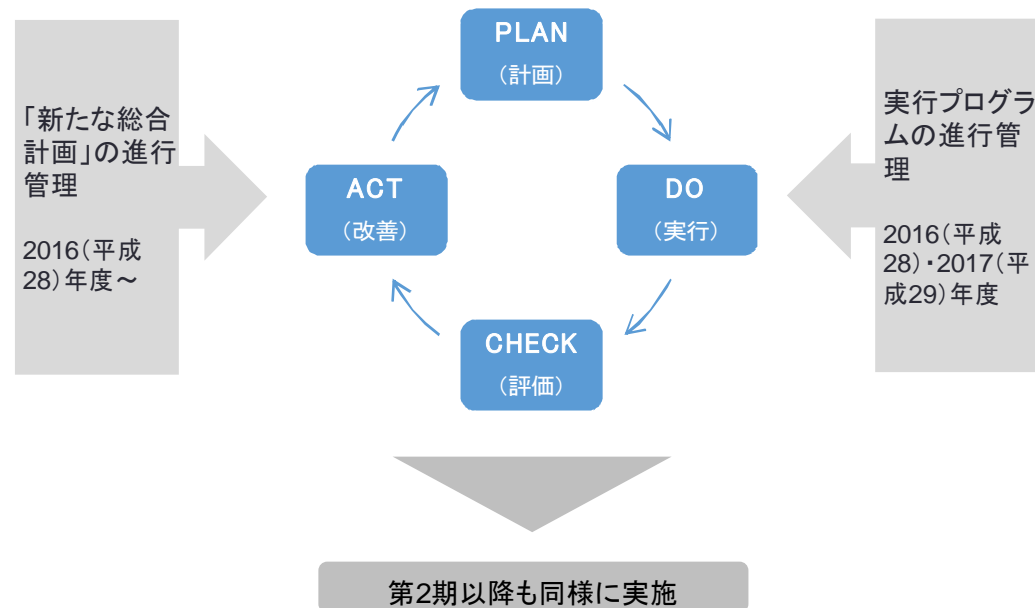
工場夜景(臨海部)

第7章 産業振興プランの進行管理

1. 総合計画における進行管理
2. 中小企業活性化条例の実施計画としての進行管理

1. 総合計画(実施計画)における進行管理

- 「新たな総合計画」における産業振興分野を担う「分野別計画」として、総合計画に位置付ける各事業・施策について、**PDCAサイクルに基づいた進行管理**を行うことで、本プランの実行プログラムの進行管理を実施する。



2. 中小企業活性化条例の実実施計画としての進行管理

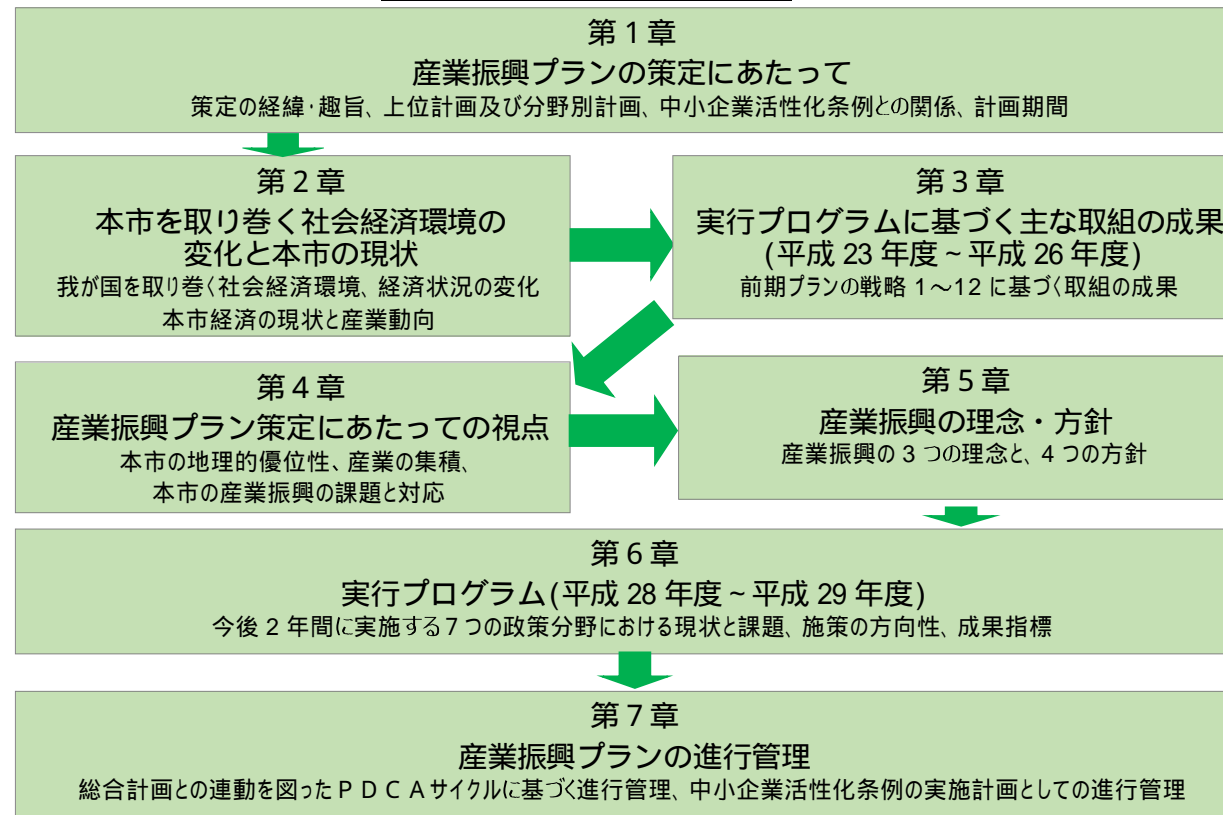
- 本プランは**条例の実実施計画**として位置づけられるため、条例の規定に位置づけられる各事業・施策について、**PDCAサイクルに基づく進行管理**を実施し、**「(仮称)川崎市産業振興協議会・中小企業活性化専門部会」への進捗状況の報告等を行い、実効性を高める。**

「かわさき産業振興プラン（案）」の概要

～オープンイノベーション都市かわさきをめざして～

「かわさき産業振興プラン」は、川崎市の産業振興の指針となる行政計画です。本プランでは、2011（平成23）年に策定した「かわさき産業振興プラン」新実行プログラムに基づく各施策の成果や課題、高齢化や国際競争の激化、イノベーションの加速などの社会環境の変化を踏まえ、見直しを行いました。また、2016（平成28）年度からスタートする「新たな総合計画」とも連携を図り、プランの計画期間を10年間（2016～2025年度）とし、第6章の実行プログラムについては、総合計画の実施計画期間と同じ2年間の計画としています。

かわさき産業振興プランの構成



第1章 産業振興プランの策定にあたって

1. 産業振興プランの策定経緯及び策定趣旨

- これまでのプランや実行プログラムの取組を踏まえた新たな産業振興の指針の策定
- 社会経済環境等の変化に対応したプラン策定の趣旨

2. 産業振興プランの位置付け

- 新たな総合計画及び産業振興に関わる分野別計画と連携した産業振興の指針
 - 中小企業活性化条例の制定を受けた、中小企業活性化施策に関する実施計画の側面
- < 計画期間 >
2016(平成28)年度～2025(平成37)年度の10年間
実行プログラム：2016(平成28)年度～2018(平成29)年度の2年間

1. 我が国を取り巻く社会経済環境の変化

- (1) グローバル化の進展とアジア地域の経済成長
我が国の国際競争力とアジア地域の経済成長
・アジア地域の経済成長と相対的な我が国の国際競争力の低下、研究開発力などの競争優位性の維持
経済のグローバル化の進展
・企業の海外進出及び国内の外国人就業者の増加
グローバル化を背景とした交流の増加と競争の激化
・羽田空港、成田空港、京浜港の人流、物流の増加
- (2) スマート革命による行動パターンの変化
電子商取引の拡大
・インターネットの普及による電子商取引市場の拡大
ビッグデータ活用の広がり
・さまざまな産業におけるビッグデータ活用の拡大
- (3) 地球規模の環境問題への対応とエネルギーの安定確保
・環境関連技術ニーズの増加と新エネルギー等の導入等、エネルギーの安定確保に向けた取組の活発化
- (4) 世界的な高齢化の進展による医療・福祉需要の拡大
・アジアを含め、世界的な高齢化の進展
・高齢化を背景とした医療・福祉需要の拡大

2. 我が国の経済状況の変化

- (1) 近年の我が国の景気動向
・我が国の経済の低成長化傾向
- (2) 産業構造の変化
・製造業を中心とした第2次産業の減少と第3次産業の拡大
- (3) 就業構造の変化
・労働力人口の減少傾向と非正規雇用の拡大
- (4) 国の経済活性化の取組
・日本再興戦略等による成長実現に向けた取組

3. 本市の現状と産業動向について

- (1) 景気・財政の動向
・市内総生産は約5.1兆円（2012年度）
・1人当たりの雇用者報酬が1位（2012年度）
・景況感、雇用状況の改善が見られる市内経済
- (2) 人口動向
・152.2万人（2030年）まで増加が見込まれる本市の人口と超高齢社会の到来（2020年）
- (3) 産業構造
産業構造の変化
・市内事業所数は横ばい（医療・福祉が増加する一方で建設業や製造業等は減少）、従業者数は増加
産業のグローバル化
・市内企業の海外展開や外国企業の市内立地による産業のグローバル化の進展
産業の情報化
・情報通信産業の集積の拡大、他産業への波及による産業の情報化の進展
産業の知識化
・研究開発機能の集積による産業の知識化の進展
産業のサービス化
・人口増加や高齢化等を背景とした個人向けサービス業の拡大などの産業のサービス化の進展
創業の状況
・開業率の上昇と市内の倒産件数の減少
産業別の状況
・製造品出荷額等の7割を占める化学、石油・石炭製品、鉄鋼等の素材型産業の集積、製造業事業所数の減少
・再開発地域等における大規模商業施設の集積
・農家数・経営耕地面積の減少傾向
・観光資源の充実による観光入込客数の増加

第3章 実行プログラムに基づく主な取組の成果(平成23年度～平成26年度)

戦略1 戦略的な産業立地政策の展開

- キングスカイフロントを中心とした多くのライフサイエンス企業の集積
- 新川崎A地区の誘致完了による技術力がある企業の集積

戦略2 環境と経済の好循環の推進

- 環境産業等の振興による省エネ・創エネ産業等の集積促進
- 川崎国際環境技術展による環境技術の発信力の拡大

戦略3 ものづくり産業をコアとした中小企業の高付加価値化の促進

- 新技術・研究開発促進支援、マッチングなどによる市内中小企業の活性化
- 産業振興財団と連携した経営支援による企業の経営力向上
- 中小企業の資金繰り支援による経営の安定化
- 各種販路拡大支援による中小企業の販路の拡大

戦略4 国際経済施策の推進

- 中国や東南アジアでの販路開拓等を目的とした市内中小企業の海外展開支援の強化による海外展開の促進
- アジア起業家村を中心としたアジアからのベンチャー企業の誘致・育成

戦略5 オープンイノベーションの推進

- 産学官のネットワークを活かした新事業・新製品の創出
- 新川崎・創造のもり地区におけるオープンイノベーションの促進
- 知的財産交流会を通じた特許流通支援による製品化

戦略6 先端産業をはじめとする新事業・新産業の創出支援

- 創業フォーラム、起業家塾、起業家オーディション等を通じた起業家の創出・育成
- KBICを拠点としたベンチャー企業等の成長促進

戦略7 生活の質を高める福祉製品等の創出促進

- ウェルフェアイノベーションフォーラムによる福祉産業振興に向けたプロジェクトの創出
- 高齢化社会に貢献する「かわさき基準（KIS）」の認証による市内福祉製品の普及促進
- デザインを活用した市内企業製品の高付加価値化の促進

戦略8 コンテンツ・ICT産業の振興

- 市内企業製品の高付加価値化、販売促進ツールとしてのコンテンツの活用促進

戦略9 産業振興と連動した人材育成と就業マッチングの促進

- 就業マッチングによる就業の促進
- 若年者の職業的自立支援による就業等の促進
- 「かわさきマイスター」制度による技術・技能の活性化

戦略10 地域特性に応じた安全・安心な商業流通・サービス機能の形成

- エリアプロデュース事業等による商業集積エリアの活性化
- 商店街エコ化プロジェクト等による商店街の環境整備
- 南北2市場体制による生鮮食料品の安定供給

戦略11 食と緑を豊かにする都市農業の振興と都市緑地の保全と活用促進

- 農地を活かした地域活性化と市民の農に触れる機会の増加
- 市内農産物の地産地消の拡大、耕作放棄地面積の減少

戦略12 地域資源の活用による魅力の発信

- 市内観光資源のPR促進と外国人観光客の受入体制の強化
- 産業観光の定着による集客の増加

第4章 産業振興プラン策定にあたっての視点

1. 本市の地理的優位性

- (1) 首都圏の中心部にある立地優位性
・陸海空のアクセスに恵まれた交通ハブ、首都圏の中心に立地
- (2) 鉄道・道路の利便性の向上
・都心方面との利便性向上や臨海部のアクセス向上
- (3) 羽田空港への近接性
・羽田連絡道路や国道357号線の整備に向けた取組の推進
- (4) 国際貿易港としての川崎港
・国際戦略港湾としての発展と新航路の開拓
- (5) 首都圏のエネルギー供給拠点としての臨海部
・多様な発電施設の立地によるエネルギー供給拠点
- (6) 都市拠点の形成
・川崎、武蔵小杉を中心とする駅前再開発による商業集積

2. 産業の集積

- (1) ものづくり産業や研究開発機関の高度な集積
・全国1位の製造品出荷額等、学術研究機関従業者率
- (2) 高付加価値製品を生み出す素材系産業の集積
・付加価値の高い石油・化学産業の集積
- (3) 新たな産業集積の形成
3つのイノベーションを促進する先端産業の集積
・ライフ、グリーン、ウェルフェアイノベーションに関する産業の集積
国際競争力のある産業創出をめざす特区の指定
・国際戦略総合特区、国家戦略特別区域の取組の推進
人口集積を活かしたサービス業の集積
・健康福祉やコンビニなどの生活関連産業の集積
魅力ある都市拠点や観光資源による観光産業の発展
ものづくり都市としての産業観光や新規集客施設の立地

3. 本市の産業振興の課題と対応

- (1) 本市経済を牽引する成長産業の振興
・ライフ、グリーン、ウェルフェアの3つのイノベーションを推進することによる成長産業の育成・振興
- (2) 本市経済のグローバル化の対応
・市内企業の海外販路開拓を支援する一方で、外資系企業の市内誘致によるインバウンド型のグローバル化を推進
- (3) 市民生活を支える産業(商業・サービス業等)の振興
・市民生活に不可欠な商業やサービス業、さらに地域課題解決に取り組むコミュニティビジネスの振興
- (4) 中小企業の活性化
中小企業の成長促進
・企業間マッチング、産学連携、研究開発、販路開拓、人材育成、事業継承など持続可能な事業体への発展に向けた支援
小規模事業者を含めた中小企業支援
・小規模基本法や中小企業活性化条例を踏まえた支援
- (5) 産業創出に向けた起業・創業の支援
・多様な人材による起業・創業の促進に向けた支援
・市民生活の安定に配慮した経済の新陳代謝の促進
- (6) 就業支援と人材育成の推進
・雇用のミスマッチの解消に向けた求職者のニーズに沿った就業マッチング支援と若年者の職業的自立への支援
- (7) 都市拠点・観光資源を活かした交流人口の拡大
・生田緑地、武蔵小杉・川崎駅周辺、臨海部等の観光資源の集積を活かした集客と滞在の増加による消費の拡大

第5章 産業振興の理念・方針

1. 産業振興の理念

- (1) 「産業都市かわさき」としてのブランド力・都市の品格を高めることにより、多様な産業・人材を引き付け、経済の活性化に繋がるとともに、社会課題の解決に貢献する。
- (2) 企業や市民との連携・協働などや地域資源の活用により、市民生活の豊かさや安全・安心の向上を図る。
- (3) 先端技術や産業集積を活かし、首都圏やアジア各国との重層的な経済循環を生み出し、持続可能な成長都市を目指す。

『多様な人材と産業が創り出す、活力と魅力にあふれるオープンイノベーション都市かわさき』オープンイノベーション都市の実現に向けて、「かわさき」という様々な資源に恵まれたポテンシャルのある場を、企業や大学、NPO、市民など多様な主体に提供することで、新産業や新事業等の創出につなげる。
「対話」と「現場主義」を基本姿勢として、産業界との「顔の見える関係」を構築しながら、持続可能な成長モデルを確立し「川崎モデル」として世界に発信する。

2. 産業振興の方針

方針1 市内立地企業の国際競争力の強化

- ・競争力のある市内企業やグローバル企業が集積する「グローバル産業都市」

方針2 イノベーションの促進

- ・3つのイノベーションを中心としたイノベーションを継続的に創出する「イノベーション創発都市」

方針3 市民生活や雇用を支える産業の振興

- ・安心と豊かさを実感できる「生活基盤充実都市」

方針4 多様な人材が活躍できる人材交流都市の構築

- ・年齢、性別、国籍、障がいの有無、思想、言語などを問わず、多様な人材が結集し活躍する「人材交流都市」

第6章 実行プログラム(2016(平成28)年度～2017(平成29)年度)

1-1 防犯対策の推進

消費生活の安全を守る

- ・新たに発生する高度化・複雑化する消費者トラブルに適切に対処するための相談機能の充実・強化

2-1 農地の保全・活用と「農」とのふれあいの推進

多面的な機能を有する農地の保全・活用

「農」とのふれあいによる農業への理解促進

3-1 アジアを中心とした海外での事業展開支援の強化

経済の国際化への対応

- ・現地サポート拠点や川崎市海外ビジネス支援センター(KOBS)等を通じた市内企業の海外販路開拓や生産拠点設立などへの支援によるアジア展開の促進

環境産業のグローバル化の促進

- ・優れた技術や製品の発信及びマッチングによる海外への技術移転の促進

アジア起業家村構想の推進

3-2 魅力と活力のある商業地域の形成

地域特性に応じた商業の振興

- ・商店街の機能向上やイベント支援等による賑わいと交流機会の確保
- ・中心市街地の魅力向上や商店街と大型商業施設等との連携促進

活力ある商業の促進

- ・エリアプロデューサー等の派遣による商業集積エリアの活性化
- ・地域ブランド・新サービスの開発支援等による魅力ある個店の創出

安全安心な食料品等の安定供給

- ・生鮮食料品等の安定供給に向けた南北2市場の持続可能な経営体制の確立と活性化対策の推進

3-3 中小企業の競争力強化と活力ある産業集積の形成

オープンイノベーションの推進

- ・知的財産交流会の実施やマッチング、事業化・市場化支援を通じた市内企業同士の連携によるオープンイノベーションの推進

ものづくり技術の高度化

- ・中小企業の技術開発や大学・研究機関等との共同研究開発への支援による市内中小企業の活性化の促進

販路拡大・開拓の支援

- ・「川崎ものづくりブランド」の認定によるブランド価値の向上や先端技術見本市等を通じた販路拡大支援

中小企業の育成

- ・中小企業の経営向上に向けた経営改善や新事業展開等の促進

中小企業の経営安定

- ・川崎市信用保証協会や金融機関と連携した資金調達支援

戦略的な産業立地誘導

- ・国家戦略特区制度などを活用した先端産業の立地促進

インバウンド型の国際化への対応

- ・シティプロモート活動などを通じた市内への外国企業や研究開発機関等の誘致促進

企業の立地・活動環境の向上

- ・内陸部工業系地域における中小製造業の操業環境の保全

デザインを活かした産業の振興

3-4 都市農業の強みを活かした農業経営の強化

- ・都市的立地を活かした健全な農業経営の推進と創造
- ・担い手・後継者の育成と認定農業者の確保・育成
- ・農業生産基盤の維持・管理
- ・企業・大学・地域等との多様な連携による地域農業の活性化

4-1 ベンチャー支援、起業・創業の促進

ベンチャー支援・新産業支援

- ・創業を目指す個人の発掘から、ビジネスプランの作成や資金調達、ビジネスパートナーとのマッチング等の一貫支援の実施
- ・インキュベーション機能の充実
- ・KBICを拠点とした中小企業のニーズや成長段階に応じた支援の実施

4-2 地域を支える産業の育成・市内事業者の新分野への進出支援

福祉産業の振興

- ・ウェルフェアイノベーションフォーラム等の活用による福祉製品やサービスの創出・活用に向けたプロジェクトの創出促進
- ・KIS認証によるブランド化を通じた福祉製品の普及拡大

コミュニティビジネスの振興

- ・中間支援団体等と連携したコミュニティビジネス、ソーシャルビジネスの創業・起業支援、収益力向上に向けた支援の実施

環境産業の普及・促進

- ・持続可能な循環型社会の構築に向けた本市発の環境調和型産業の振興

コンテンツ産業の振興

- ・コンテンツの活用による製品・サービス等の高付加価値化等の推進

4-3 科学技術を活かした研究開発基盤の強化

先端科学技術の振興

- ・NANOBIICを活用し、4大学ナノ・マイクロファブ리케이션コンソーシアムと連携した市内企業への技術支援の充実と産学共同研究の促進

- ・「創造のもり」地区における新たな産学交流・研究開発施設の整備促進

- ・「ナノ医療イノベーションセンター」に入居する研究者・企業等と医療分野進出に取り組む市内企業との連携促進

- ・「かわさき科学技術サロン」を通じた研究者・技術者のネットワーク構築支援による市内産業の活性化

科学技術を学ぶ場づくり

産業活動・交流の促進

- ・小杉町二丁目地区におけるコンベンション施設の整備等によるオープンイノベーション等を促進する交流拠点の整備

5-1 人材を活かすしくみづくり

就業の支援

- ・「キャリアサポートかわさき」等を通じた求職者の特性に合った就業マッチングや就業機会の提供

産業人材の育成と活用

- ・行政と産業界の連携による産業人材の育成
- ・技術・技能の振興奨励
- ・市内最高峰の匠「かわさきマイスター」制度等による技能・技術の活性化

5-2 働きやすい環境づくり

勤労者の福祉の充実

6-1 臨海部の戦略的な産業集積と基盤整備

- ・臨海部の国際競争力強化に向けた企業間連携の促進
- ・国際競争力の高いスマートコンピナートとしての発展促進

7-1 川崎の特性を活かした観光の振興

観光・集客型産業の育成

- ・羽田空港からの近接性等を活かしたインバウンド観光への注力や産学官民が一体となった観光客受入体制の整備等の推進

観光資源の創出・育成

- ・産業観光や生田緑地など、多様な地域資源を活かした都市の観光魅力の創出
- ・魅力ある競輪レースの開催と競輪場の再整備の実施

第7章 産業振興プランの進行管理

1. 総合計画(実施計画)における進行管理

- ・新たな総合計画と連動した進行管理、成果指標

2. 中小企業活性化条例の実施計画としての進行管理

- ・中小企業活性化条例の実施計画としてのP D C A管理